

FAX送信用タグ 017-774-0955 (FAX専用)
青森市港湾河川課内 青森港国際化推進協議会事務局行

整理番号

第3次アンケート調査票

ご記入に際してのお願い

- このアンケート調査票は、青森県における外貿コンテナ貨物等の輸出入貨物流動実態の把握と青森港における外航定期航路誘致の可能性を探るため、貴社（貴事業所）における**外貿コンテナ貨物を中心とした輸出入貨物の取扱状況**についてお尋ねするものです。
- この調査票は統計的に処理いたしますので、皆様方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。
- ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒にて、**平成15年4月25日（金）まで**にご返送下さいますようお願いいたします。
- ご記入に際してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

青森港国際化推進協議会

事務局／青森市役所 都市整備部 港湾河川課 担当／港湾係 工藤、中村

電話／(代)017-734-1111 (内線 4121) FAX／017-774-0955

ホームページ／<http://www.apic-aomori.jp>

問1. 貴社（貴事業所）についてお尋ねします。

貴社(事業所)名			
所在地	〒		
年間出入荷量 (取扱量)	出荷量(トン)		うち輸出貨物量(トン)
	入荷量(トン)		うち輸入貨物量(トン)
業種	1. 製造業 2. 商社 3. 卸売業・小売業 4. その他〔具体的に〕		
回答者ご芳名 (部課・役職)	電話 ()		
ホームページ アドレス	貴社のホームページを開設している場合はアドレスをお知らせ下さい。 ()		

問2. 貴社（貴事業所）における外貿コンテナでの輸出貨物及び輸入貨物の取扱いについてお尋ねします。
また、不明な場合については該当する欄に「不明」とご記入下さい。

品目名	仕向国 仕出国	仕向港 仕出港	船積港 (輸出港) 船卸港 (輸入港) (注1)	貴社（貴事業所）から船積港もしくは船卸港から貴社までの主な輸送機関(注2)			外貿コンテナ貨物の詰め・取出し・通関場所(注1)		年間の貨物量(注3)			輸送頻度 (注1)	混載の有無 (注4)	(注5)		今後の貨物量の見通し (注1)			備考		
				内航フェリー 利用港湾名	トラック (注2)	鉄道 利用駅名	詰め 出し 場所	通関 場所	コンテナ貨物の貨物量					取扱 の 多い 月	取扱 の 多い 曜日	5年 後の 見通し	10年後の見通し				
									20ft 本数	40ft 本数	その他						理由	コンテナ貨物の貨物量 (年間)			
																				2	3
(例)りんご	台湾	高雄	神戸			東青森-梅田	自社	神戸	5,000		100		1	○	6	○	2	2	2	8,000	
(例)水産品	アメリカ	ロサンゼルス	横浜		○			神戸	50				4	○	金 45%	○	3	3	4	10	
(例)山菜	中国	上海	横浜	横浜-八戸			自社	八戸	30	2			7	○	○	2	2	3	450		

- 船積港、船卸港の例
1. 八戸港
 2. 秋田港
 3. 仙台港
 4. 東京港
 5. 横浜港
 6. 神戸港
 7. 大阪港
 8. その他具体的に []
- 詰め場所、取り出し場所、通関場所の例
1. 自社施設（工場、自家倉庫等、自社近辺の施設等）
 2. 八戸港の港頭地区
 3. 秋田港の港頭地区
 4. 仙台港の港頭地区
 5. 東京港の港頭地区
 6. 横浜港の港頭地区
 7. 神戸港の港頭地区
 8. 大阪港の港頭地区
 9. その他具体的に [] 港
- 輸送頻度の例
1. 毎日1回以上
 2. 1日1回程度
 3. 2日に1回程度
 4. 3～4日に1回程度
 5. 1週間に1回程度
 6. 月1回程度
 7. 月2～3回程度
 8. その他具体的に []
- 今後の見通し
1. 横ばい
 2. 増加
 3. 減少
- 10年後の見通し理由欄
1. 進出先の現地マーケットの拡大
 2. 生産拠点、販売拠点の海外進出
 3. 国内マーケットの拡大
 4. 生産工程における国際分業の活発化
 5. 海外における一貫生産体制の確立
 6. その他具体的に []

注1 船積港、船卸港、詰め場所、取出し場所、通関場所、輸送頻度、5年後の見通し、10年後の見通し（トン数欄を除く）については、番号のご記入でも結構です。
 注2 船積港（輸出港）までの主な輸送機関、船卸港（輸入港）からの主な輸送機関がトラックの場合は、枠内に○印をご記入下さい。
 注3 トン数でのご記入が困難な場合は、貴社（貴事業所）でご利用なされている単位でのご記入でも結構です。その場合、単位の部分に貴社（貴事業所）でご利用なされている単位の名称をご記入下さい。
 注4 混載の有無とは、当該品目が混載で輸出入される場合があれば、この欄に○印をご記入下さい。
 注5 「取扱いの最も多い月」については、年間のなかで波動がある場合は多い月を数字で、比較的平均している場合は○印を上段にご記入下さい。また、月をご記入の場合、下段には年間に占める当該月の取扱い割合をご記入下さい。「取扱いの最も多い曜日」については、一週間のなかで波動がある場合はその曜日を、比較的平均している場合は○印を上段にご記入下さい。また、曜日をご記入の場合、下段には一週間に占める当該曜日の取扱い割合をご記入下さい。

問3. 今後、青森港からダイレクトの定期コンテナ航路として、どの方面の航路を希望しますか。具体的に希望する航路名を3つ以内でご記入下さい。

1. _____
2. _____
3. _____

※具体的な航路とは、韓国（釜山）、中国（大連）、中国（天津新港）、中国（青島）、中国（上海）、中国（寧波）、香港、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、アメリカ、ヨーロッパなどで、国名のご記入でも結構です。

問4. 青森港国際化推進協議会では、世界の物流中継港湾（ハブ港）である韓国（釜山港）からの試験寄港（試験的に1回程度青森港へ寄港するもの）の実施を検討しておりますが、貴社（貴事業所）ではご参加のご意向がございますか。

1. 参加してみたいのでトライアル寄港に関する詳しい資料を送付して欲しい
2. トライアル寄港に関する資料を送付して頂き、それを見たうえで検討したい
3. あまり興味はない

問5. 貴社（貴事業所）における外貿コンテナ以外での輸出貨物及び輸入貨物の取扱いについてお尋ねします。トン数でのご記入が困難な場合は、貴社（貴事業所）でご利用なされている単位でのご記入でも結構です。その場合、単位の部分に貴社（貴事業所）でご利用なされている単位の名称をご記入下さい。

品 目 名		仕向・仕出国	仕向・仕出港	船積・船卸港	年間貨物量
輸 出 貨 物	(例) 中古自動車	ロシア	ウラジオストク	青森	500台 トン
					トン
					トン
					トン
輸 入 貨 物	(例) 融雪剤	中国	福州	七里長浜	300 トン
					トン
					トン
					トン

問6. フェリー型の船舶の場合、トラックやフォークリフトで船倉に貨物を直接搬入できるため、コンテナ以外のさまざまな貨物の輸出入も行うことが可能ですが、こうした船舶によって運航される国際航路に関心はありますか。

1. 大変関心がある、または国際フェリー航路による輸出入を行ったことがある
2. 多少関心はある
3. あまり関心はない

問7. 青森港の利用が拡大されることを目的にお聞きします。

関連企業やお取引のある企業の中で、現在貿易を行っている、または貿易に興味がある、もしくは青森港に関心を示している企業がございましたらご紹介下さい。

※貴社からご紹介のあったことについては一切公表いたしません。

会社(事業所)名	
所在地	〒
電話番号	
業種	1. 製造業 2. 商社 3. 卸売業・小売業 4. その他〔具体的に〕
ご担当者 ご芳名 (部課・役職)	()

問8. 今後の貴社(貴事業所)の貿易量の変化や利用港湾の変更、国際定期航路開設に対するご意見・ご要望、青森港もしくは港湾管理者である青森県、さらにはポートセールスの推進等に対するご意見・ご要望などをご自由にご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

今後とも青森港の国際化にご支援ご協力をお願いいたします。